



受企相第236号  
平成25年9月26日

鳥取県生物学会 会長 鶴崎 展巨 様  
NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部 支部長 福田 紀生 様  
鳥取自然保護の会 会長 浜辺 正篤 様  
鳥取地学会 会長 星見 清晴 様  
自然と親しむ会 会長 清末 忠人 様  
日本自然保護協会自然観察指導員鳥取連絡会 会長 清末 幸久 様  
鳥取昆虫同好会 会長 國本 洗紀 様  
倉吉野鳥の会 会長 國本 洗紀 様  
山陰むしの会 会長 淀江 賢一郎 様  
レッドデータブックとっとり2012 執筆担当者一同  
代表 鶴崎 展巨・永松 大 様  
日本鱗翅学会中国支部 支部長 田村 昭夫 様  
日本昆虫学会自然保護委員会 委員長 石井 実 様

鳥取市長 竹内 功



湖山川水門開放による湖山池の高塩分化事業の見直しの要望書（回答）  
（対平成25年3月11日付け）

このことについて、別紙のとおり回答します。

**【陳情・要望に関する担当】**

鳥取市尚徳町116番地 鳥取市役所本庁舎

企画推進部市民総合相談課

Tel 0857-20-3158

E-mail shiminsoudan@city.tottori.lg.jp

### 【要望事項（１）】

２０１２年（平成２４年）３月から実施されている鳥取市湖山池の汽水化事業の見直しを至急検討すること。

### 【回答（１）】

汽水化事業は、湖山池への塩分導入を行うことで、劣化しつつあった自然環境を再生し、それによるアオコやヒシの悪臭防止や景観改善及び漁業資源維持増殖といった県民生活安定等を図ることとして、湖山池会議において総合的に判断し決定され進めてきているものです。

現在、湖山池周辺でアオコやヒシが発生しない状況や悪臭が抑制されていることから、引き続きアオコやヒシの発生状況に注視し、生態系のモニタリングなどを強化しながら、適切な塩分管理に努めていきます。

なお、今後ともモニタリング委員会や湖山池将来ビジョン推進委員会の意見を踏まえながら、湖山池会議の場で十分に議論を尽くして進めていく所存です。

（環境下水道部 生活環境課）

### 【要望事項（２）】

湖山池の水質浄化については、

- a) 周囲からの湖山池への有機物の流入負荷の軽減
- b) ヒシ刈り取り船の導入
- c) 湖山川水門の現在の上から下に閉めきる方式から下から上に持ち上げる方式への改造（これにより濃度の濃い海水の侵入の阻止が可能）
- d) 湖山川の河口の千代川との直結など塩分導入以外の方策の検討を始めること。

### 【回答（２）】

- a) 周囲からの湖山池への有機物の流入負荷の軽減

湖山池将来ビジョン推進計画（第３期湖山池水質管理計画）において、水質改善のために実施すべき事項として「流入負荷の軽減」を掲げており、下水道整備等の生活排水対策、事業場からの排水対策及び農業活動、森林、市街地等からの面源系負荷の削減対策を進めていくことにしています。

- b) ヒシ刈り取り船の導入

鳥取県に確認したところ、「ヒシ刈り取り船については平成１４年度に導入し、これまで継続してヒシ除去を実施してきたところですが、しかしながら、その後に繁茂範囲が拡大し、ヒシ刈り取り船での対応が困難な状況となるなど、外部への委託の方法でヒシ処分を行っていたところですが。」とのことでした。

c) 湖山川水門の、現在の上から下に閉めきる方式から、下から上に持ち上げる方式への改造

湖山池将来ビジョンに掲げる塩分濃度を達成するため、今後ともきめ細やかな水門操作を行うこととします。

湖山川水門の方式の改造について鳥取県に確認したところ、「湖山水門は老朽化が進んでおり、大規模な修繕等を行う場合は、海水の流入調整がより容易にできるような施設への改修等についても検討します。」とのことでした。

d) 湖山川の河口の千代川との直結、など塩分導入以外の方策の検討を始めること。

昭和58年に完了した千代川の河口付け替えは、「重要港湾鳥取港の整備」と同時に、湖山池を治水的に切り離すことにより、千代川流域の「洪水対策」のみならず、湖山川流域への「背水の解消」と洪水後や高潮時の「海水の逆流対策」の目的で改修したものであり、往年の宿望を果たし大きな効果を発揮しています。従って、湖山川の河口を再度、当時と同じように千代川へ接続することについては、沿川住民を巻き込んだ慎重な議論が必要です。

(環境下水道部 生活環境課)

### 【要望事項(3)】

湖山池会議で、カラスガイなどのレッドリスト掲載種の保護・生物多様性保全の観点を含めて再検討を行なうこと。県は湖山池会議に対してそのように指導すること。

### 【回答(3)】

現在の汽水湖化への取組は、湖山池会議で民意を集約して水門開放による塩分導入を検討し、生態系の問題については専門家の助言を頂きながら取り組んできたものです。

残念ながらこれまで生息していたイシガイ、カラスガイ等の希少な淡水二枚貝やハス・ヒメガマ等の水生植物の一部は激減してしまいましたが、幸いなことに周辺の水域ではこれら淡水性の動植物が少数ながら確認されています。

今後、これらの生息状況の調査等を重ねるとともに、各種モニタリングを強化し、湖山池環境モニタリング委員会の助言や意見を聴きながら湖山池会議の場で十分議論して保護・保全に取り組んでいくことにしています。

(環境下水道部 生活環境課)

#### 【要望事項（４）】

鳥取県や鳥取市がおこなう河川整備・湖岸整備等の工事において希少野生動植物の保護に配慮すること。

#### 【回答（４）】

鳥取市が管理する湖山池周辺の小河川を整備する場合には、河幅も狭く河道内に魚道等を設置することが困難であるため、段差の少ない計画とし魚類に配慮するよう努力します。

また、鳥取県が実施する河川整備及び湖岸整備について県に確認したところ、「河川整備にあたっては、現存する瀬や淵などの自然環境を出来るだけ保全する計画としています。なお、河床については砂層で埋戻しを行うとともに、段差のない計画とし魚類に配慮します。また、湖山池の背水の影響を受けない上流区間については、多様な環境を創出し、水量の少ない時期の水深の確保を行うため、複断面構造とすることとしています。湖岸整備についても、コンクリート構造とはせず土堤構造とし、さらに水際には覆砂による浅場造成を行い、底生生物等の生息環境に配慮します。また、残存するヨシ原を出来る限り残すとともに、ヨシ原の根茎を移植するなど、推移帯（エコトーン）の保全に努めます。」とのことでした。

（都市整備部 都市環境課）

#### 【本件に関するご質問・お問い合わせは下記まで】

環境下水道部 生活環境課 （電話番号：０８５７－２０－３２１６）

都市整備部 都市環境課 （電話番号：０８５７－２０－３２５２）